



株主通信61号 第75期 中間報告書
(2024年4月1日～2024年9月30日)

Rinnai

証券コード 5947



平素は格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第75期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)中間報告書をお届けいたします。

当社グループは中期経営計画「New ERA 2025」における3つの戦略ストーリーである「社会課題解決への貢献」、「事業規模の拡大」、「企業体質の変革」の実現に向けた取り組みを推進しています。このような状況のなか、当中間連結会計期間の業績は、販売面につきましては、主要国における需要の回復感はないものの需給バランスなどの市場環境が正常化したことで、第1四半期からの好調を維持し、過去最高の売上高となりました。損益面につきましては、世界的な物価上昇に伴う原材料・エネルギー価格の高騰などによって各種費用負担が増加するなか、価格改定や原価低減活動効果によって過去最高の営業利益となりました。なお、中間配当金は1株につき40円とさせていただきます。

当社グループは引き続き、戦略ストーリーの実現に努めてまいります。具体的には、「社会課題解決への貢献」として定めた「生活の質向上」および「地球環境」貢献商品として、国内では、高い省エネ性能を誇り、ガスと電気の2種類の熱源を持つことでレジリエンスの高さとディマンドレスポンス(DR)にも柔軟に対応可能なハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE」の普及に努めるとともに、海外では高い省エネ性に加え、湯切れのおそれのないタンクレス給湯器の拡販に努めています。また、ガス衣類乾燥機を世界14カ国に展開し普及するほか、健康増進や高い洗浄力によって日々の掃除の負担を軽減するエアバブル商材を、アジア圏で展開しています。このように、当社グループのカーボンニュートラル宣言「RIM 2050」の達成に向け、重点商品の拡充に取り組むとともに、お客様との約束である「Creating a healthier way of living (健全で心地よい暮らし方を創造します)」の実現と持続的で堅実な長期成長に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

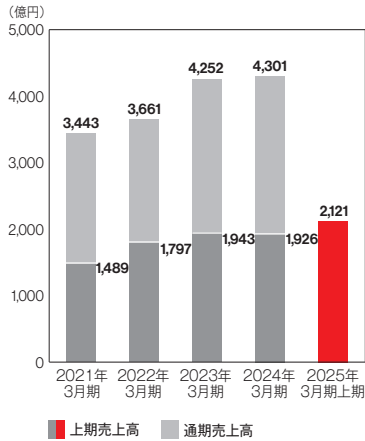
代表取締役社長

内藤弘康

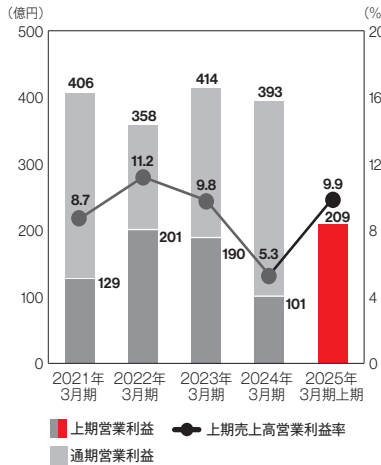
2025年3月期中間のポイント

- 売上高は、厳しい市場環境が継続するなか、第1四半期からの好調を維持し、2期ぶりの増収
- 営業利益は、世界的な物価上昇に伴う原材料・エネルギー価格の高騰などによって各種費用負担が増加するなか、価格改定や原価低減活動効果によって3期ぶりの増益
- 1株当たり配当金は40円。中間配当では15期連続の増配

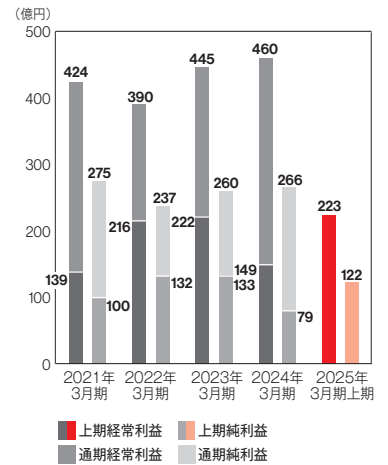
売上高



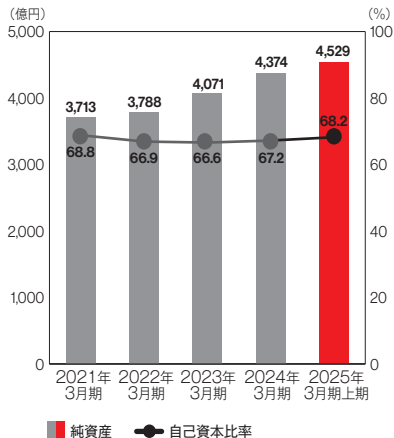
営業利益、
売上高営業利益率



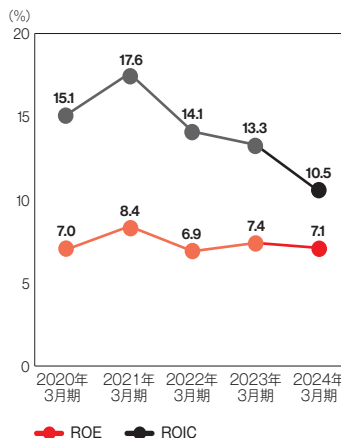
経常利益、
親会社株主に帰属する当期純利益



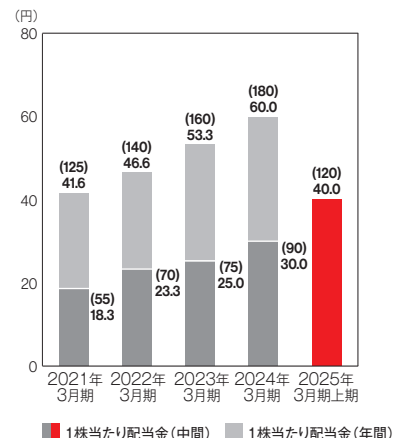
純資産、自己資本比率



ROE、ROIC



1株当たり配当金



※ 投下資本利益率 (ROIC) = 営業利益 (みなし税引き後) ÷ 投下資本 (売掛金 + 在庫 - 買掛金 + 固定資産 (有形・無形))

※ 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
※ () 内は分割考慮前ベース

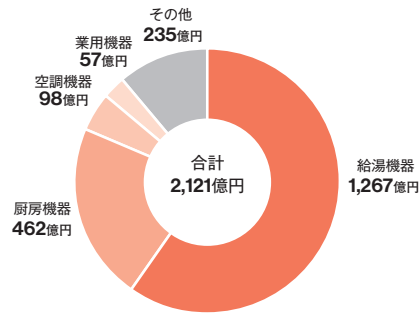
営業のご報告 (2025年3月期中間 連結)

機器別売上高のポイント

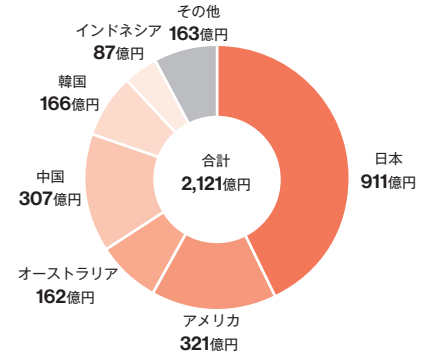
- 給湯機器は、国内のハイブリッド給湯・暖房システムや、アメリカのコンデンシング給湯器が伸長し増収
- 厨房機器は、インドネシアの堅調な買い替え需要と、韓国の競合企業の撤退により好調だった販売を維持し増収

部門	主要製品
給湯機器	給湯器、ふろ給湯器、給湯暖房機、ハイブリッド給湯・暖房システム等
厨房機器	テーブルコンロ、ビルトインコンロ、オープン、食器洗い乾燥機、レンジフード、炊飯器等
空調機器	ファンヒーター、FF暖房機、赤外線ストーブ等
業用機器	業務用焼物器、業務用レンジ、業務用炊飯器等
その他	衣類乾燥機、赤外線バーナー、部品等

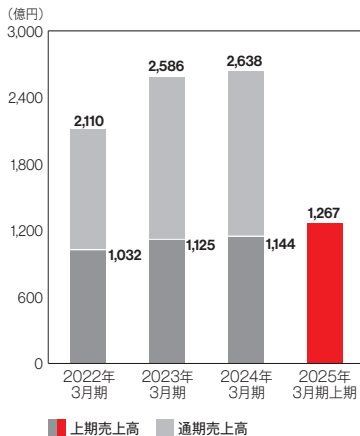
機器別売上高



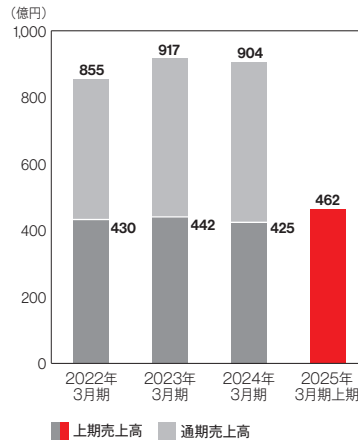
地域別売上高



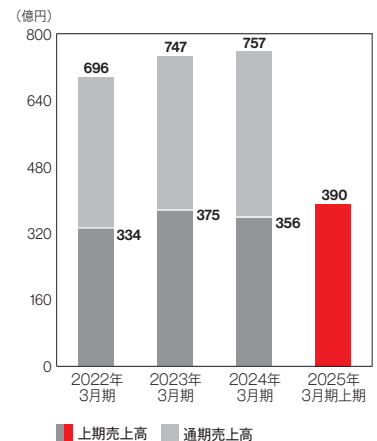
給湯機器 売上高



厨房機器 売上高



空調機器、業用機器、その他 売上高

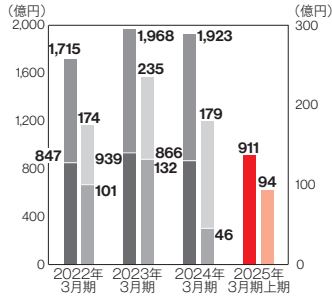


地域別概況: 売上高、営業利益

日本



高効率給湯器 エコジョーズ
レンジフード ビルトインコンロ
衣類乾燥機



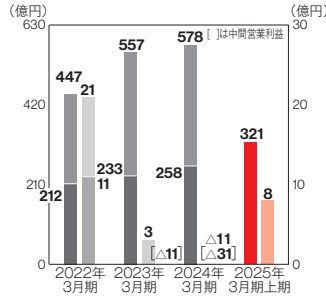
物価上昇により消費が低調に推移するなか、重点商品の販売が大きく伸びし**増収増益**

■ 上期売上高 ■ 上期営業利益
■ 通期売上高 ■ 通期営業利益

アメリカ



タンクレス給湯器
FF 暖房機



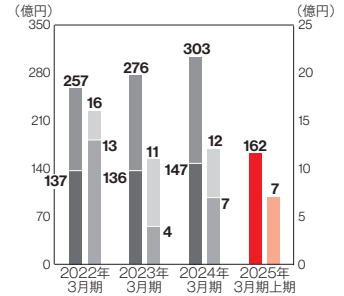
主力であるコンデンス給湯器の新製品販売が堅調に推移し、**増収黒字化**

■ 上期売上高 ■ 上期営業利益
■ 通期売上高 ■ 通期営業利益

オーストラリア



タンクレス給湯器
電気貯湯式給湯器
ダクト式冷暖房システム



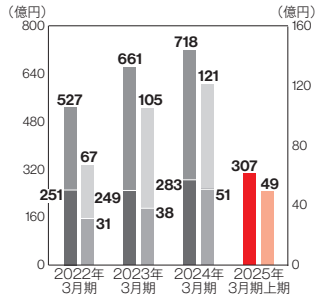
厳冬の影響で主力のガス機器販売が回復したが、増益にはいたらず**増収減益**

■ 上期売上高 ■ 上期営業利益
■ 通期売上高 ■ 通期営業利益

中国



タンクレス給湯器
ビルトインコンロ
レンジフード



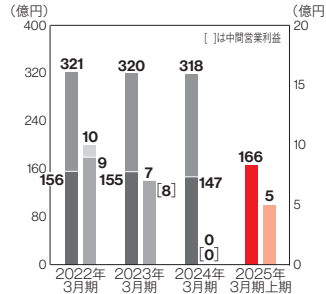
ECおよび実店舗取引が増加した一方、商品ミックスの悪化により**増収減益**

■ 上期売上高 ■ 上期営業利益
■ 通期売上高 ■ 通期営業利益

韓国



テーブルコンロ
ボイラー
業務用スチームオープン



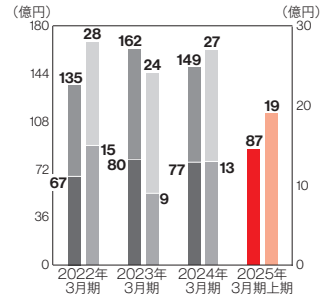
ボイラー販売では厳しい状況が継続した一方、厨房機器販売が好調を維持し**増収増益**

■ 上期売上高 ■ 上期営業利益
■ 通期売上高 ■ 通期営業利益

インドネシア



テーブルコンロ
ビルトインコンロ



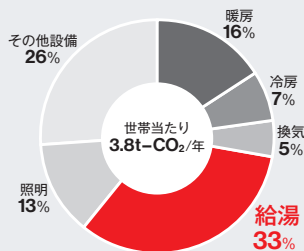
価格改定効果に加え、テーブルコンロの堅調な買替需要を取り込み**増収増益**

■ 上期売上高 ■ 上期営業利益
■ 通期売上高 ■ 通期営業利益

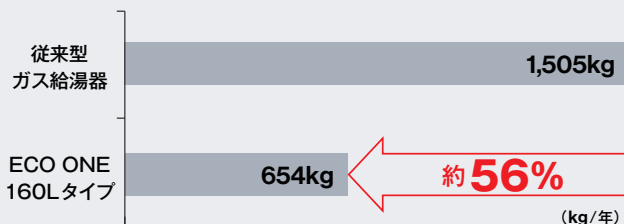
だから選ばれる! ハイブリッド給湯器 ECO ONE (エコワン)



環境省「地球温暖化対策計画」により、家庭部門のCO₂排出量を、2030年までに2013年比で66%削減するという目標が提示されています。



家庭におけるCO₂排出量のうち、およそ3割をお風呂や台所などで使う「給湯」が占めています。



ECO ONE 160Lタイプなら、**給湯由来のCO₂排出量を56%削減**します。



給湯省エネ2024事業

ECO ONEの高い省エネ性能や環境性能が評価され、国をあげての普及が行われています。**1台当たり15万円の補助金**が支給され、リンナイの2030年目標であるECO ONE販売台数30万台に向けて大きく前進しています。2024年度上期販売台数は前年度比**1.5倍**となっています。



リンナイのCO₂排出削減への取り組みは、国の削減目標の大きな役割を担います。国が推し進める補助金制度を追い風にECO ONEの普及を進めるとともに、事業の大きな柱に育てていきます。また**太陽光発電などの再生可能エネルギー電力が余る時間帯にヒートポンプを運転し、タンクにお湯として蓄熱するなど電力の需給バランスを取るデマンドレスポンス (DR)**にも対応していきます。

ビルトインコンロのフラッグシップモデル 「DELICIA (デリシア)」モデルチェンジ



2024年8月、ビルトインコンロのフラッグシップモデル「DELICIA」をモデルチェンジしました。付属調理器具に「ザ・ココット ラウンド」と「トースト・ピザプレート」が新登場し、リンナイ公式レシピアプリの対象レシピで連続調理と仕上がりが調整が可能となるなど、さらに調理性が向上しました。

業界初となる製品寿命お知らせサポート デジタル技術活用の給湯器を発売



2024年10月、「エコジョーズ」RUF-E シリーズをモデルチェンジしました。業界初の「製品寿命お知らせ」機能を搭載して給湯器の経年劣化を検知し、故障の可能性が高まるとリモコンから通知します。さらに「気象警報湯はり」機能が、暴風雨や大雪時に停電などライフラインの寸断に備えた非常用水の確保のために浴槽への湯はりを提案します。

乾太くんデラックスタイプ 「レッドドット・デザイン賞* 2024」を受賞



reddot winner 2024

*「レッドドット・デザイン賞」は、ドイツの「ノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター」が主催する国際的に権威のあるデザイン賞です。



「乾太くんデラックスタイプ」が「レッドドット・デザイン賞 2024」を受賞しました。今回の受賞は、2023年のカラーリモコン「MBC-332VCシリーズ」に続き5商品目です。「乾太くんデラックスタイプ」は「グッドデザイン・ベスト100」も受賞しています。

リンナイオーストラリアが 家庭用エネルギー製品販売会社を買収



2024年8月、リンナイオーストラリアは太陽光発電システム等の家庭用エネルギー製品販売会社のリーディングカンパニーであるSmart Energy Group 社を買収しました。オーストラリアでは戸建て住宅に太陽光発電が急速に普及しており、今後、リンナイオーストラリアは従来のガス機器事業以外の分野で事業の柱を構築してまいります。

リンナイは2050年を目標年としたカーボンニュートラル宣言を公表し、脱炭素社会の実現に向けて取り組みを進めています。以下では国内外での当社グループの取り組み事例をご紹介します。

地球温暖化防止への取り組み

海外における省エネ給湯器の展開

リンナイニュージーランドでは国内の気候と顧客ニーズを踏まえ、タンクと一体型のヒートポンプ給湯器を初めて自社開発し、高いエネルギー消費効率を実現しました。ヒートポンプとタンクを分離した設計とし、家庭での設置性やメンテナンス性にも配慮しています。



リンナイニュージーランドのヒートポンプ給湯器

資源循環への取り組み

排水処理における環境負荷低減

能登テックは、汚泥の回収方法を見直し、今まで放流していた排水を循環利用させる仕組みを構築して、再利用率を50%としました。

再利用率
50%

設備の有効利用と改善による環境保全

アール・ティ・エンジニアリングは、他事業所で使われなくなった省エネ効果のある塗装前処理設備を有効活用するとともに、経路を最適化して環境コストを削減しました。洗浄水量の削減に加えて、乾燥方法を見直し、CO₂排出量を約50%削減しました。

CO₂排出量
約**50%**
削減

環境汚染防止への取り組み

環境配慮型循環システムの構築

リンナイブラジルヒーティングテクノロジーは、切削中に発生する切りくず、切粉を流し落とすための洗浄液を、安全・環境面に配慮し、有害性を含まない生分解性*のものに変更しました。さらに、洗浄液を再利用できる自動循環システムを取り入れ、約30%の節水を実現しました。

節水への貢献
水使用量
約**30%**
削減

*廃棄しても微生物によって分解され自然界に循環される性質

環境コミュニケーション

SDGs見学会の開催

アール・ビー・コントロールズは、従業員家族向けにSDGsをテーマに会社見学会を開催しました。楽しみながらSDGsを考える機会とするため、17のゴールにまつわるブースの出展や体験コーナー、SDGsスタンプラリーなどを企画・運営しました。



SDGs体験ブース

中間連結貸借対照表 (単位:百万円)

当中間連結会計期間末 (2024年9月30日現在)
前連結会計年度末 (2024年3月31日現在)

	当中間連結 会計期間末	前連結会計 年度末
資産の部		
流動資産	346,003	341,437
固定資産	240,739	235,650
有形固定資産	155,478	147,425
無形固定資産	4,263	3,642
投資その他の資産	80,997	84,582
資産合計	586,743	577,088
負債の部		
流動負債	99,165	106,890
固定負債	34,653	32,759
負債合計	133,818	139,650
純資産の部		
株主資本	346,919	346,470
資本金	6,484	6,484
資本剰余金	8,435	8,428
利益剰余金	350,444	342,493
自己株式	△18,445	△10,936
その他の包括利益累計額	53,070	41,304
非支配株主持分	52,935	49,663
純資産合計	452,925	437,438
負債 純資産合計	586,743	577,088

中間連結損益計算書 (単位:百万円)

当中間連結会計期間 (2024年4月1日から2024年9月30日まで)
前中間連結会計期間 (2023年4月1日から2023年9月30日まで)

	当中間連結 会計期間	前中間連結 会計期間
売上高	212,124	192,694
売上原価	140,506	135,706
売上総利益	71,617	56,988
販売費及び一般管理費	50,621	46,868
営業利益	20,996	10,120
営業外収益	2,670	5,320
営業外費用	1,339	530
経常利益	22,327	14,910
特別利益	791	—
特別損失	1,243	—
税金等調整前中間純利益	21,874	14,910
法人税等	5,958	3,612
中間純利益	15,916	11,298
非支配株主に帰属する中間純利益	3,668	3,395
親会社株主に帰属する中間純利益	12,247	7,902

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

当中間連結会計期間 (2024年4月1日から2024年9月30日まで)
前中間連結会計期間 (2023年4月1日から2023年9月30日まで)

	当中間連結 会計期間	前中間連結 会計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,952	8,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△468	△12,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,657	△18,530
現金及び現金同等物の中間期末残高	132,469	101,312

会社データ・株式の状況

会社概要 (2024年9月30日現在)

創業 1920(大正9)年9月1日
設立 1950(昭和25)年9月2日
資本金 6,484,416,754円
本社 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26
TEL 052-361-8211 (代表)
従業員数 連結10,788名、単体3,543名

国内ネットワーク (2024年9月30日現在)

生産関連拠点:技術センター、生産技術センター、春日井物流センター、厚木物流センター、大口工場、瀬戸工場、暁工場

支社:東北、関東、中部、関西、九州

支店:北海道、北東北、仙台、新潟、東京、北関東、東関東、南関東、東海、静岡、北陸、長野、大阪、京滋、兵庫、中国、四国、福岡

営業所・出張所等:(85カ所)

その他国内事業所:研修センター(11カ所)、お客様センター

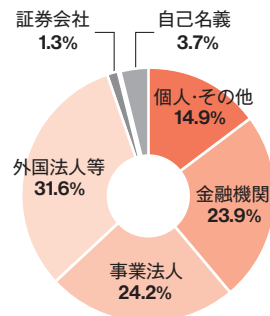
役員 (2024年9月30日現在)

代表取締役会長	林 謙治	常勤監査役	清水 正則	執行役員	谷岡 克則
代表取締役社長 社長執行役員	内藤 弘康		加島 厚朗		穂谷野弘幸
代表取締役 副社長執行役員	成田 常則	監査役(社外)	松岡 正明		内藤 大祐
取締役 専務執行役員	白木 英行		渡邊 一平		
	井上 一人	常務執行役員	中島 忠司		
取締役(社外)	神尾 隆		大井 裕久		
	小倉 忠		小川 拓也		
	土地 陽子		高須 芳彦		
	佐藤 久美		西澤 勇生		

株式構成 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 600,000,000株
発行済株式数 146,677,171株(自己株式を含む)
株主数 8,117名

所有者別株式分布



リンナイグループ (2024年9月30日現在)

国内子会社 (12社)

製品の製造販売

- (株)柳澤製作所
- リンナイテクニカ (株)
- (株)ガスター

製品の販売

- リンナイネット (株)

部品の製造販売

- アール・ビー・コントロールズ (株)
- リンナイ精機 (株)
- アール・ティ・エンジニアリング (株)
- 能登テック (株)
- テクノパーツ (株)

その他の事業

- リンナイ企業 (株)
- 他2社

海外子会社・関連会社 (35社)

持株会社および製品の販売

- リンナイホールディングス (パシフィック) (株)

製品の製造販売

- リンナイアメリカ (株)
- リンナイオーストラリア (株)
- 上海林内有限公司
- リンナイコリア (株)
- リンナイインドネシア (株)
- リンナイニュージーランド (株)
- 台湾林内工業股份有限公司
- リンナイタイ (株)
- リンナイベトナム (株)
- リンナイブラジルヒーティングテクノロジー (株)
- リンナイマニュファクチャリングマレーシア (株)
- インダストリアスマス (株)
- サーモソリューションズグループ (株)

製品の販売

- リンナイイタリア (株)
- 林内香港有限公司
- リンナイカナダホールディングス (株)
- 広州林内燃具電器有限公司
- セントラルヒーティングニュージーランド (株)
- リンナイプラス (株)
- リンナイマレーシア (株)
- リンナイ UK (株)
- リンナイトレーディング (株)
- クールプリーズ FM (株)
- 海南林内民生燃具厨衛販売有限公司

部品の製造販売

- アール・ビー・コリア (株)
- 上海燃宝控制器有限公司
- 三国 RK 精密 (株)

その他の事業

- アイゾーン (株)
- 他6社

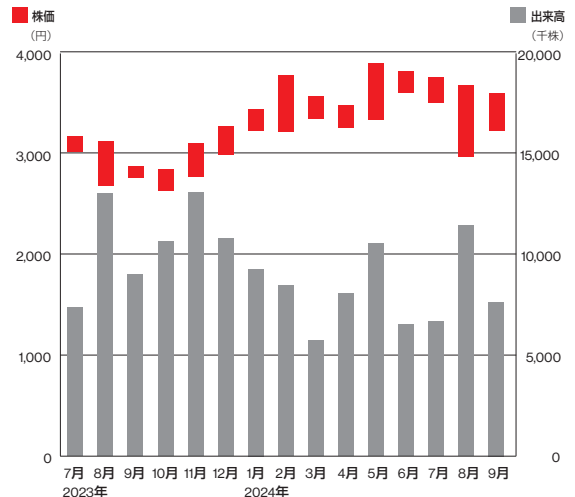
● 連結子会社 ● 非連結子会社 ■ 持分法非適用関連会社

大株主 (2024年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)
内藤株式会社	18,647
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	15,676
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	10,712
林 謙治	7,369
公益財団法人リンナイ 奨学財団	4,200
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505103	3,465
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505001	2,708
全国共済農業協同組合連合会	2,137
ミサキ エンゲージメント マスター ファンド	2,049
リンナイ社員持株会	1,860

※当社は自己株式 5,556 千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

株価の推移



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 https://www.rinnai.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1-4-1
特別口座の口座 管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1-4-1
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間：平日9:00～17:00
株式の上場	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

株式に関するお手続きのお申し出先

1. 未払配当金の支払いのお申し出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申し出先

- ① 証券会社に口座をお持ちの株主様の場合、お取引証券会社等
- ② 証券会社に口座をお持ちでないため、特別口座が開設されました株主様の場合、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

Rinnai Web Original



毎日の料理を
もっと豊かにする
Web限定モデル

<https://rinnai.jp/weboriginal/>



リンナイ公式オンラインストア



Rinnai Style

リンナイ製品のある暮らしをもっと豊かにする
お料理やお掃除など、便利なアイテムの販売や
暮らしに役立つ情報をご提供します。

<https://www.rinnai-style.jp/>



リンナイ株式会社

<https://www.rinnai.co.jp/>

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26
TEL 052-361-8211